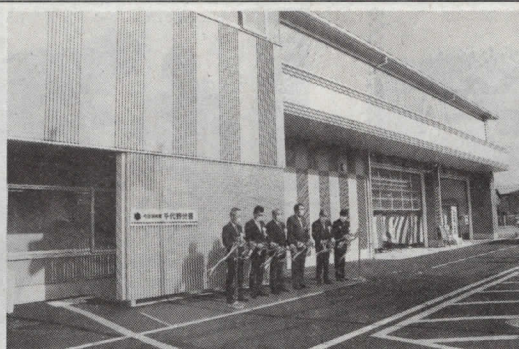


地域 松任

白山野々市広域事務組合は20日、白山市北安田町地内で建設を進めていた松任消防署千代野分署の竣工式を行い、地域における新たな防災拠点の完成を祝った。写真。

冒頭、同組合長の山田憲昭市長が新施設の特徴を説明した上で「救急体を設置し、災害対応力を強化する。」



建築以外の施工は、電気設備および非常用発電機設備を島野電機商会、機械設備をイケザキ設備。

設計はVAN建築事務所(金沢市)が担当した。

狹い化などを避け、既存施設東側の駐車場で建て替えた。新施設の建設規模はS造2階建て延べ801平方メートル。内部には個室の仮眠室や女性用シャワー室、トイレを整備。新型コロナウイルス感染症対策にも万全を期す。このほか、72時間運転対応の自家発電設備のほか、自家井戸を水源とした耐震性防火水槽(40トン)を設置し、災害対応力を強化する。



出席者による記念撮影
①と講演する山田学長

に出場する選手激励会が会場する。全国大会は、12月17日から東京ビッグサイトなど14会場で行われ、21歳・中橋タイル、42職種で青年技能者が技能レベル日本一を競う。

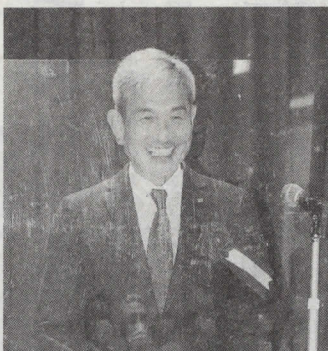
郵送、ファクス、メールのほか、応募箱で受け付ける。採用された人は開館記念式典で表彰され、

「人と人とのつながりを」

芝浦工大石川50周年式典

山田学長が記念講演

芝浦工業大学校友会石川支部は20日、金沢市内のANAホリデイ・インのANAホリデイ・イン金沢スカイで創立50周年記念式典を開催した。出席した関係者約40人が50年の節目を祝い、さらなる発展を誓い合った。



いきいたい」と話した。続いて、来賓である山田純学長や加藤善次郎校友会会長が祝辞を述べ、同大や校友会の一層の飛躍へ協力を求めた。同会の発展に寄与した中村等、砺野政弘、豊蔵世紀、金指昭郎の4氏が功労者表彰を受け、砺野氏が謝辞とともに50年の歩みを語った。

この後、山田学長が



久坂和之、竹内申一、田淵基樹、久展示作品を説明する吉田さん
山岸製作所

です」としている。平日は午前11時から午後6時、土日祝日は午前10時から午後6時。24日は定休日、最終28日は午後4時に終了。問い合わせは同地域会まで。

「芝浦工業大学の現状と2027年の100周年に向けた取り組み」と題して記念講演。山田学長は女子学生比率30%の目標を示し、「大手企業は女性エンジニアを求めている。日本を変えていくには女性技術者の育成が必要」と話した。ステークホルダーの満足度向上も掲げ、「人と人とのつながりがあると満足度が高まる」と述べ、各種イベントと大学の一体化を強調した。

式典や記念講演は、同支部のHPからYouTubeで視聴できる。

千葉市の「花見川住宅大規模修繕工事」

高屋設計デザインルームが担当

全40棟・計1530戸対象に

NPO法人日本外断熱協会(東京)は27日、千葉県千葉市で国交省の補助金を活用した「花見川住宅大規模修繕」の補助金を活用した。造5階建てで、全体の延べ床面積は38万51



7街区の2~5号棟

ニーと階段部の修繕。カラーリング計画は日本の伝統色である胡桃、柳、浅紫、山吹、深川風(ねずみ)の5色を採用。千葉市景観計画の承認を得て、全棟が規則正しく、クラクション状に見えるように配色し、街並みとの調和を図っている。施工者は鹿島建物(東京)が担当。

住宅は耐震診断の結果、全40棟中、38棟が補強の必要性がなかったことから、大規模修繕団地の耐震化は大きな課題だが、70歳以上の高齢者にとって建て替えになった場合、経済的、精神的に大きな苦痛を強いられるが、今回のように住み続けながら大規模修繕ができれば、そうした負担は少なく画期的。

コンサルから設計・監理までを手掛ける高屋設計環境デザインルームの高屋利行代表は「建物と住民の2つの